

2024
1

Miss Japan News

ミス日本ニュース

2024年3月7日発行 vol.226
一般社団法人ミス日本協会

ミス日本

2024年、第56代ミス日本が決定しました。

ミス日本「水の天使」



安井南 やすいみなみ
19歳 神奈川県横浜市出身
日本大学生物資源科学部2年

凛とした真剣な雰囲気と、ほんわりと優しい雰囲気の両方を併せ持つ、大学生です。得意のSNS発信では、TikTok推薦クリエイターにも選定。数十万人のフォロワーを持つインフルエンサーとして頭角を示しています。得意とするのは武術の数々。空手松濤館流、剣道、古武術天心流、琉球

古武術など。武士道精神への憧れと体現を目指し、鍛錬で得た集中力を活かして表現の道へ進みます。

ミス日本みどりの大使

ミス日本ミス着物



安藤きらり あんどうきらり
23歳 東京都出身
慶應義塾大学商学部4年

「子どもたちの未来を豊かにしたい」保育園や学童、幼児向け学習塾で子供と接してきました。感情豊かに育つ社会にした子どもたちに学びと体験を提供したいとお話しています。特技は全国6位のチアダンスと、ニワトリの爪を整えること。自宅でニワトリを飼うことで、規律正しい早起き生活を送っています。

ミス日本「海の日」



有馬佳奈 ありまかな
22歳 鹿児島県鹿児島市出身
東京大学理科一類2年

飛行機はどうして飛ぶのか？という疑問から航空宇宙工学に熱中。ケンブリッジ大学で成果発表するなど専門性を深めていきます。今ではドローンの製作ができるほどの学生エンジニアです。誰もが飛行機や宇宙旅行が気軽にできる社会のために研究者・エンジニアを目指しています。

準ミス日本



石村彩華 いしむらあやか
20歳 大阪府都出身
関西大学商学部2年

10年続けたバスケットボールで培った、健康的な精神と笑顔が自慢の大学生です。試合では接触や転倒があってもすぐ立ち上がり、周囲を鼓舞することを心がけました。将来はスポーツキャスターを目指し、いつも周囲を明るくする雰囲気と笑顔を心がけています。



ミス日本グランプリは、受賞後に本人の一身上の都合により辞退することとなりました。
2024年のミス日本グランプリは空位といたします。

1月5日

名古屋木材組合など
令和6年度新年名刺交換会

新年賀詞交歓会に、華やかな振袖姿で2023みどりの大使の上村さや香が登場しました。これまでいろいろな場所で演奏してきましたが、振り袖姿での弾き語りは初めての挑戦。林業従事者への感謝と、能登ヒバでできたギターを使って能登半島地震被災者へのお見舞いの気持ちを込めて歌い上げました。

1月11、12日

高知から発信する下水道の未来
第6回シンポジウム&現地視察

水の天使竹田が、高知県の先端技術シンポジウムに司会として登場しました。高知県は他県よりも早く高齢化が進むことを逆にとり、先端技術の実験場として売り出しています。

県内に導入された省力化やダウンサイジング可能な施設の数々を視察。水技術者の工夫や努力に脱帽する内容でした。

1月7日

ミス日本×スポGOMI
新宿中央公園をきれいに！

街頭清掃活動・ゴミ拾いにルールを定めて競技とした「スポGOMI」の公式大会を開催。ミス日本受賞者・OG・ファイナリスト、そして協力団体ら総勢30名で西新宿を清掃。たった30分で合計20kg以上のゴミを集めることができました。

1月14日

ミス日本ボランティア協会
児童福祉施設イベント開催

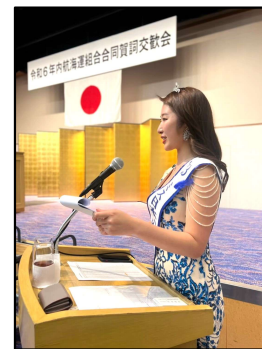
都内の児童養護施設に現役ミス日本とOGが駆けつけお楽しみ会を実施。児童たちは思い思いの「ミス日本〇〇」を考え、自分たちでたすきを作ります。メイクやあるきかたを教わり、ちょっぴり背伸びな気持ちになります。子どもたちから大盛況でした。

1月9日

日本下水道施設業協会
新年賀詞交歓会 司会進行

水の天使の竹田聖彩が、日本下水道施設業協会の賀詞交歓会に司会として登場しました。能登半島地震により上下水道インフラは壊滅的な被害を受け、避難生活に大きな影響をもたらしています。水業界は業界総出で復旧に当たっていますが、課題も多いようです。この日は全国の老朽インフラを抱える地域についても話題となり、竹田は改めて水インフラの重要性を再認識しました。

1月18日

令和6年 内航海運組合
合同賀詞交歓会 司会進行

海の日の稲川夏希が、内航海運組合の賀詞交歓会に司会として登場しました。海運は島国日本の輸出入の99%以上を担う重要なライフラインです。歓談の時間には、今年一年も生活をささえる仕事に従事される組合員の皆様に感謝と尊敬をお伝えして周りました。

1月11日

WOODコレクション モクコレ
石川ブースで震災支援募金

みどりの大使の上村さや香がモクコレ2024に登場OP式典ではウッドカットセレモニーがあり、石川ブースで地震災害義援金の呼びかけを行いました。会場内には、クロモジコーヒーなどが提供されるモクコレカフェなど、単に建築材だけではなく木の使い道がたくさん展示されており、上村は会場内を巡って改めて木が持つ魅力を感じました。

1月19日

横浜市下水道管理協同組合
新年賀詞交歓会 司会進行

水の天使の竹田が、横浜市の下水道関係者による賀詞交歓会に司会として出席しました。やはりここでも話題は震災復興。横浜からも能登に応援を出しており、水業界の団結の強さを感じる機会となりました。

1月19日

北海道森林組合幹部職員会
情報交換会議にて演奏会

北海道森林組合の幹部研修会にて、みどりの大使上村が任期1年を感じた日本の林業についての講演を行いました。行く先々の若手の声を盛り込んだ発表はかつて現場を経験した幹部の方々に染み渡るように感動を呼び、大変公表でした。

1月26日

将棋の新概念「引き角女子」
将棋情報局インタビュー

新しく海の日に選ばれた有馬佳奈は、高校時代は将棋全国大会出場の腕前。得意の飯島流引き角戦法は玄人好みの戦術とあって、早速将棋メディアの取材を受けました。なんとインタビュアーに飯島栄治八段ご本人が来所するサプライズも！

1月26日

2024クボタグループ
新年名刺交換会に水の天使

水の天使の竹田が水環境企業大手のクボタグループの新年名刺交換会に司会出席しました。能登半島地震を受けて「企業にできること」がそこかしこで真剣に話されており、社会を支える人たちの矜持を感じ、その背中への頼もしさを感じる会でした。

1月30日

飯島流引き角戦法の発案者
飯島八段との対談動画収録

東京新聞の将棋企画にて、飯島八段との将棋対談に海の日有馬が臨みました。有馬は苦手とする振り飛車や角交換に対応するために引き角戦法を導入。全国大会出場の道を拓きました。対談動画は次ページのQRコードから閲覧できます。

1月26日

全国で広げる！協働による
森林づくりシンポジウム

みどりの大使の上村が、オンライン開催のシンポジウム司会を務めました。森林づくりは規模も時間も大きく、個人だけでも、1組織だけでも成り立ちません。マッチングのための「翻訳者」のような存在が大事であることが話されました。

1月30日

衆議院議長公邸を表敬訪問
全国植樹祭の開催を応援

新しくみどりの大使に選ばれた安藤きらりが、今年の全国植樹祭が開催される岡山県知事と衆議院議長による会議場に表敬を行いました。まだまだ選出直後ということで緊張しながらご挨拶。森林循環について学び、植樹祭のPRに努めて参ります。

1月29日

希少なリン資源を下水道が回収
B-DASH実証実験施設 完成式典

水の天使竹田が、東京都の砂町水再生センターに導入された実証実験設備の完成式典に司会として登場しました。メディアが集まる中でいよいよスイッチON！農業や生命維持に欠かせないリン資源ですが

日本は100%輸入に頼っています。そこで下水道からリン資源を回収する仕組みが登場しました。水インフラが希少資源を産出するとあって、世界が注目する取り組みです。

1月の活動

- 5日 愛知県木材組合連合会 新年名刺交換会/上村
 6-7日 **ファイナリスト向け勉強会 第4期**
 9日 日本下水道施設業協会 賀詞交歓会/竹田
 11日 WOODコレクション(モクコレ)2024/上村
 11-12日 高知から発信する下水道の未来 第6回シンポ/竹田
 14日 ミス日本ボランティア協会 児童福祉施設訪問
 /寺嶋,東海林, 16飯塚帆南,16織茂璃穂
 18日 令和6年内航海運組合合同賀詞交歓会/稲川
 19日 北海道森林組合幹部職員会 情報交換会議/上村
 横浜市下水道管理協同組合賀詞交歓会/竹田
 21日 **前夜祭激励会**
 22日 **第56回ミス日本コンテスト2024**
 26日 2024クボタグループ新年名刺交換会/竹田
 全国で広げる協働による森林づくりシンポジウム/上村
 マイナビ出版 将棋情報局 インタビュー取材/有馬
 29日 東京都B-DASH 施設完成式典 /竹田
 水道産業新聞社インタビュー取材/竹田
 報知新聞&スポーツ報知 将棋インタビュー/有馬
 東京新聞 飯島栄治八段対談動画撮影/有馬
 30日 衆議院議長表敬訪問/ 2024みどりの大使

1月のメディア掲載

- 16-18日 スポニチ ファイナリストリレー紹介
 22日 スポニチ 前日審査会の様子とザ・ブリリアント賞
 23日 **ミス日本コンテスト開催・結果発表に伴う報道**
スポニチ始め、スポーツ新聞各紙やWEB報道など多数
共同通信配信ニュースなど
AFP,AP通信,BBC,CNN,、Guardian、朝鮮日報
その他、多数の海外メディア
 25日 AbemaTV生出演
 12,19,26日【WEB】FITNESS LOVE ミス日本便り掲載
 【冊子】日本下水道協会「下水道協会誌」寄稿/竹田
 【冊子】林野庁「情報誌林野」寄稿/上村
 【冊子】全日本海員組合会報誌「海員」寄稿/稲川



「引き角女子」ミス日本有馬佳奈さん 創始者 飯島栄治八段 対談

中日新聞 東京新聞 将棋... チャンネル登録 1,403人



中日新聞&東京新聞
飯島八段対談動画

有馬佳奈の将棋インタビュー



マイナビ将棋情報局
飯島八段インタビューアー



スポーツ報知
将棋インタビュー

ファイナリスト勉強会 第4期

内面の美、外見の美、行動の美
これら3つの美を磨き、将来の夢を叶える実力を身につけます。



躍動するダンス

世界的ダンスアーティストで演出家のTAKAHIRO先生によるダンスの勉強会を開催。それぞれの個性を活かして全員で映像作品づくりに取り組みます。「困難に直面した時でも逃げずに立ち向かっていくことで新しい世界が拓ける」。先生がお話する言葉ひとつひとつに勇気づけられ、チャレンジ精神も育まれました。



ウォーキングの指導



10月に行ったウォーキング指導の2回目。今回は大会で使うドレスを身にまとい、衣装の良さを引き出す歩き方について練習を重ねていきます。きれいな歩き方は日々の積み重ねと鍛錬によってのみたどり着けます。



ゴミ拾いをスポーツにしてわかったこと／マーケティングの視点から



(3ページ目にも記載)
スポーツとゴミ拾いの融合「スポGOMI」の大会開催の後に、日本スポGOMI連名の馬見塚健一先生と服部進先生からお話を伺います。単なる街頭清掃も、競技性を付与することで周囲が喜んで参加するスポーツへと変貌。いまや毎週どこかで大会が開催されるまでに普及しています。多くの方がどうすれば行動変容を促せるのか。競技など切磋琢磨することの大事さを学びました。



現役ミス日本からのメッセージ



2023ミス日本の現役6名が自らの体験を振り返り、アドバイスをする会を開催。各賞ごとにもし受賞したらどんな出来事があるかを紹介。そして、元出場者ならではの控室のヒントや舞台袖での体験談をお話。ミス日本コンテスト大会当日がよりよいものになるように、全員がお互いのためを考えて活発なやり取りがなされました。



自閉症者支援のAOAart



自閉症者の方々にアートの能力開発を行い、社会参加や経済活動に参加させることで、自立までこぎつける支援プログラムがAOAartです。

単に手を差し伸べるのではなく、長所を生かして社会参加を支えることで、多様性のある社会とはなにかを考えます。

今月のカリキュラム

6日

「ウォーキング指導」：福村あけみ先生

「自閉症者支援のAOAart」：藤島大千画伯、下村雄飛先生

7日

「躍動するダンス」：プロダンサー TAKAHIRO先生

「ゴミ拾いをスポーツにしてわかったこと
/マーケティングの視点から」

：日本スポGOMI連盟 馬見塚健一先生、服部進先生

「現役ミス日本からのメッセージ」：2023ミス日本
吉岡恵麻、竹田聖彩、上村さや香、稲川夏希、
寺嶋琴、東海林杏朱